

414
A2575

現今裁判所ニ於テ罪囚又ハ代官人等ノ奸詐

籠絡ヲ免レサルノ弊事ハ前日畧之ヲ上陳セリ今又

區裁判所ヲ設クルノ不可ナルト併セテ前陳ノ緒餘ト

シ述ベス

一東京裁判所本年訴訟ノ數既ニ貳萬餘件ニ

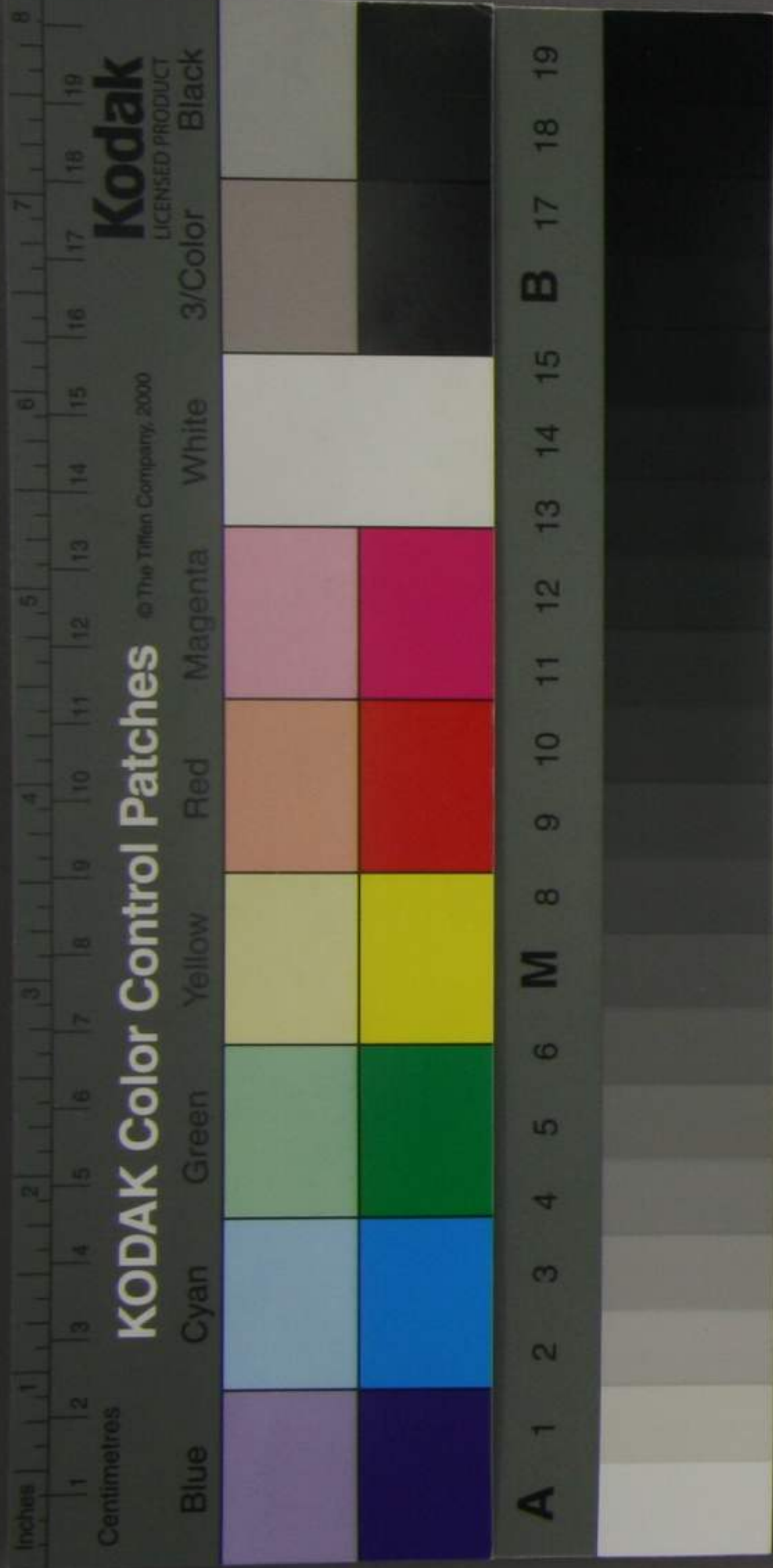
至ルト其繁雜誠ニ想フベシ自然事務淹滞審

判踈漏ノシテ保タス區裁判所ヲ設クルノ

議專ラ之ニ由テ起ル所ヤリ今其訴訟ヲ減少シ

繁雜ノ患ナカラシメハ方今國家多端ノ際東京

大正十一年四月



正十一年四月
限

等ノ奸詐

上陳セリ今又

別陳ノ緒餘ト

貳萬餘件ニ

務淹滞審

訂ヲ設ケルノ

訟ヲ減少シ

端ノ際東京

1549

訴訟人控訴ノ竊盜入込之時々紛失物等アル全ク繁雜
ヨリ生スル弊ニシテ甚不体裁ナリ

裁判所ニ於テ暫ク従前ノ成規ニ循フモ固ヨリ
障礙ナカルベシ

一 曩キ正院ニ各

費途ハ一切相止

行ヲ新設スルノ費

シヤ恐ラクハ國家ノ

ハノ謗ヲ免レサル也

一 戊辰ノ秋東京市中取締設立以來其功績
少ナシトセス現今警視廳ニ至テモ罪犯ノ探索及ヒ
取調等ニ於テ曾テ差支アルコトナシ自今一切ノ事

訟ハ先ツ當廳出張所ニ於テ勸諧ヲナサシメハ更ニ
一層ノ實効ヲ奏スルヲ得マク方今ノ時勢ニ於テ區
裁判所ヲ新設スルト其便否得失論ヲ瑛々サ
ルナリ

一 一切ノ訟事ヲ取扱フニ當テハ各出張所ニ警部三
名專務ヲ命ス六大區ニ拾八人ノ増員ヲ以テスレ
ハ事務礙滞ナカルベシ

一 其人ハ元檢部或ハ解部等ノ内ヨリ之ヲ撰ムベシ

一 出張所ニ於テハ戸長町用掛ヲ使役シ訴訟ノ情
實ヲ探索シ或ハ之ヲシテ理解ヲ加ヘ懇切ニ熟

裁判所ニ於テ暫ク従前ノ成規ニ循フモ固ヨリ
障礙ナカルベシ

一曩キニ正院ニ各廳ニ下スニ燒眉ノ急ニアラサレ
費途ハ一切相止可キノ旨ヲ以テシ然ルニ區裁判
所ヲ新設スルノ費途之ヲ燒眉ノ急ト云フヲ得
ンヤ恐ラクハ國家ノ痛痒ニ關セス徒ラニ改革ヲ好
ムノ謗ヲ免レサル也

一戊辰ノ秋東京市中取締設立以來其功績
少ナシトセス現今警視廳ニ至ラニ罪犯ノ探索及ヒ
取調等ニ於テ曾テ差支アルコトナシ自今一切ノ事

訟ハ先ツ當廳出張所ニ於テ勸諧ヲナサシメハ更ニ
一層ノ實効ヲ奏スルヲ得マク方今ノ時勢ニ於テ區
裁判所ヲ新設スルト其便否得失論ヲ瑛々サ
ルナリ

一一切ノ訟事ヲ取扱フニ當テハ各出張所ニ警部三
名專務ヲ命ス六大區ニ拾八人ノ増員ヲ以テスレ
ハ事務礙滯ナカルベシ

一其人ハ元檢事或ハ解部等ノ内ヨリ之ヲ撰ムベシ
一出張所ニ於テハ戸長町用掛ヲ使役シ訴訟ノ情
實ヲ探索シ或ハ之ヲシテ理解ヲ加ヘ懇切ニ熟

當時各
備ハラス
裁判所

暫ク従前ノ成規ニ循フモ固ヨリ

各廳ニ下スニ燒眉ノ急ニアラサレ

相止可キノ旨ヲ以テシ然ルニ區裁判

ノ費途之ヲ燒眉ノ急ト云フヲ得

家ノ痛痒ニ關セス徒ラニ改革ヲ好

ル也

京市中取締設立以來其功績

、警視廳ニ至ラモ罪犯ノ探索及ヒ

曾テ差支アルコトナシ自今一切争

訟出張所ニ於テ勸諭ヲナサシメハ更ニ

奏スルヲ得マク方今ノ時勢ニ於テ區

新設スルト其便否得失論ヲ俟タサ

取扱フニ當テハ各出張所ニ警部三

ス六大區ニ拾八人ノ増員ヲ以テスレ

ナカルベシ

又ハ解部等ノ内ヨリ之ヲ撰ムベシ

ハ戸長町用掛ヲ使役シ訴訟ノ情

或ハ之ヲシテ理解ヲ加ヘ懇切ニ熟

考ヘテ

當時各縣ニ於テ出張二等裁判所悉
備ハラス然ルニ府下ニノ三汲々トシテ區
裁判所ヲ設ケンヤ

和ヲ謀ラシムハシ

一 戸長町用掛ノ給料一月総計壹万圓ニ過ク
皆之ヲ人民ニ仰ク故ニ勉メテ其紛難ヲ解キ
争訟等ナカラシムルモノ當然ノ義務ト云フベシ

一 現今ハ戸長町用掛ニ弊害アルヲ以テ是等ノ事
ニ多クハ關セシメサルナリ

一 出張所ニ於テ魚テ戸長町用掛ノ所為ヲ監視シ
弊害アルニ當テ嚴ニ之ヲ糾正スル其惡習ハ忽
チ一掃スルヲ得可シ

附言 憲法等代言人社ヲ結ビ其弊害頗ル

國憲ニ關シトスルノ勢アリ戸長町用掛ノ曰弊

ト同日ノ論ニアラス

- 一 若シ警視官ニ曲事アルハ其訴願人等ハ直チニ裁
判所ニ上告スルヲ得シ弊害何ソ警視官ニアラン
- 一 出張所又ハ扱所ニ於テ詔事ヲ取扱フニ當人又
ハ親族町用掛ヲ以テ之ヲ辯スルニ代言人等ヲ用
ヒ或ハ手数料等ノ入費ハ必ス収納セサルハシ
- 一 現今裁判所事務ノ繁劇ナルヲ以テヤ訴訟ノ
審判時日ヲ遷延スルカ故ニ告訴人ハ代言代書
等ノ為メ費用ノ夥シキニ苦シムル甚シ

一 誰カ光陰ト金錢トヲ費シ訴訟ヲ好ム者アラン
出張所ニ於テ果シテ前ノ如クナレハ人民ノ之レヲ
便トスル必セリ裁判所出訴ノ數ヲ減シ其煩
雜ヲ省クノ効驗一令ノ下ニ著ルヘシ

一 裁判官ハ正義公直ヲ主トシ情實ヲ酌量セス
一意ニ律法定規ヲ踐行フヲ以テ蒙昧ノ人民ハ
却テ其權利ヲ暢達スル能ハサルノ憂多シ

一 行政ノ官ニ於テハ專ラ保護ヲ旨トシ撫育ノ
道便宜百方ニシテ或ハ典型ニ干犯スル如キモ遂
ニ之ヲシテ罪ニ陥ラサラシム故ニ能ク人民ノ交際

ヲ協和シ世ノ安寧ヲ保全スルヲ得ルナリ

一 近來民權漸ク伸張シ訴人ノ多キ訟庭ノ繁
ナル司法ノ部事熾ルヲ兆スルニ足ル裁判官タル
者多々益之ヲ弁スヘシ雖然必スマ訟ナカラシムルモ
ノ責行政ノ官ニ在リ是レ我廳ノ自ラ任シテ深
ク憂フル所ニシテ或ハ漫ニ權限ヲ誇張スルノ譏
誹アルモ敢テ避ケサル所也

